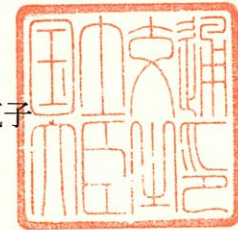


# 認 定 書

国住指第 1124 号  
平成 13 年 11 月 8 日

竹村工業株式会社  
代表取締役社長 竹村弘實 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号及び同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FP030RF-9056
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
高圧木毛セメント板・ロックウール吸音板野地板瓦葺屋根
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

---

認定区分 防耐火構造 耐火構造 屋根<30分>  
商品名 高圧木毛セメント板・ロックウール吸音板野地板瓦葺屋根  
申請者住所 竹村工業(株) 長野県下伊那郡松川町上片桐4608  
(連絡先)

---

---

認定内容

認定番号

FP030RF - 9056

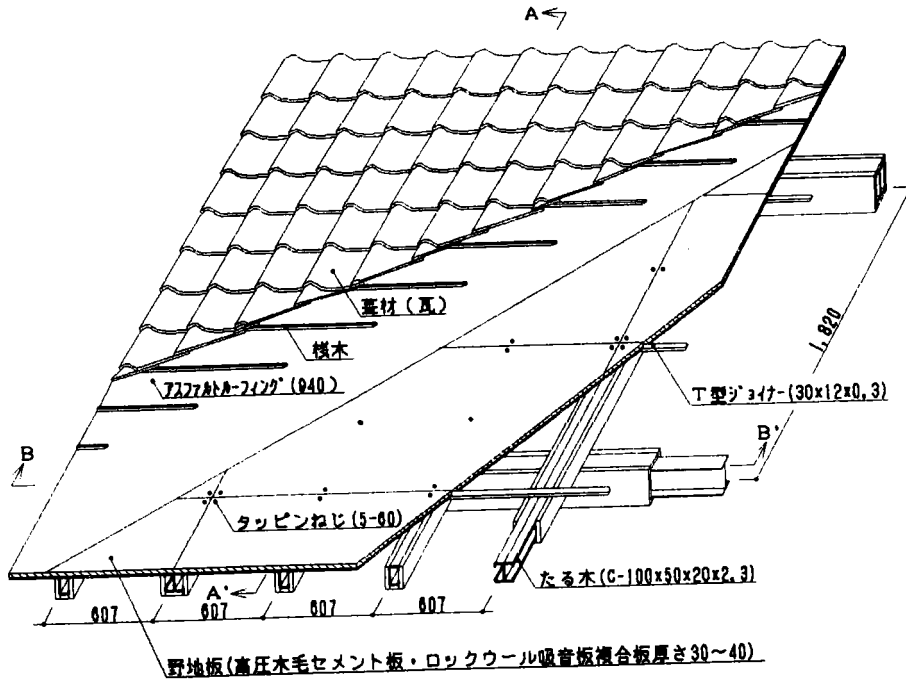
構造方法又は建築材料の名称	高圧木毛セメント板・ロックウール吸音板野地板瓦葺屋根
申請者名	竹村工業(株) 代表取締役社長 竹村弘實
認定年月日	平成13年11月8日

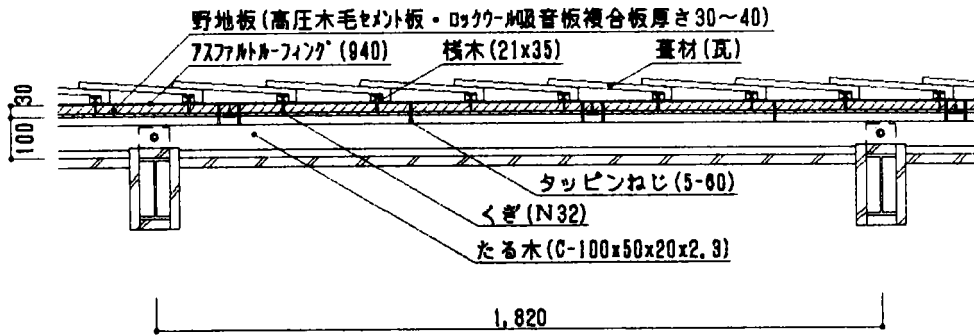
• 認定した構造内容又は建築材料の内容(寸法単位:mm)

1. 部分、耐火性能の区分 屋根 30分耐火
2. 試験機関名 (財)日本建築総合試験所 受託番号 A - 96 - 18

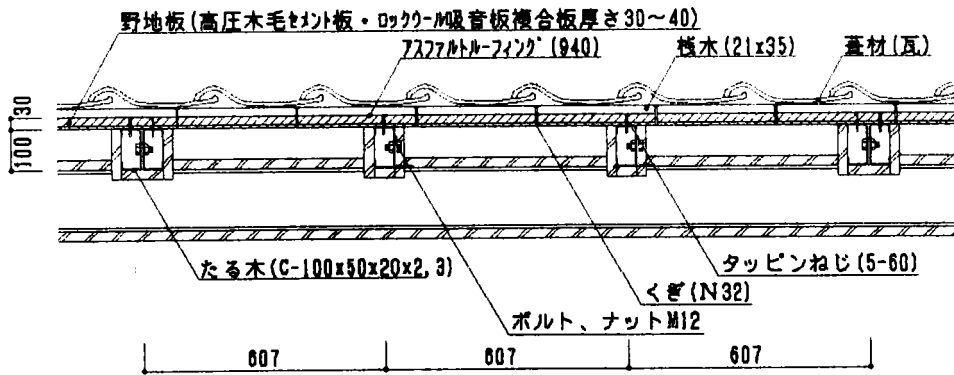
3. 構造説明図 (単位 mm)

見取図





A-A' 断面図



B-B' 断面図

## 4. 材料等説明

## 1) 主構成材料

高圧木毛セメント板・ロックウール吸音板複合野地板

## - 1 組成

## (イ) 高圧木毛セメント板

木毛セメント板(準不燃(個)第2894号)

## (ロ) ロックウール吸音板(不燃第1021号)

## (ハ) 接着剤

酢酸ビニル系 250g/m<sup>2</sup>(固形分)

## - 2 形状及び寸法(単位:mm)

厚さ 30、35、40(+1、-3)

幅 910(+1、-3)

長さ 1820(+1、-3)

## - 3 性能

かさ比重 高圧木毛セメント板0.9以上

ロックウール吸音板0.6

曲げ破壊荷重 厚さ30mm...180kgf以上(JIS A 1408)

厚さ35mm...250kgf以上(JIS A 1408)

厚さ40mm...300kgf以上(JIS A 1408)

含水率 15%以下(工場出荷時)

たる木 軽量形鋼 □ - 100×50×20×2.3mm以上

防水材料 アスファルトルーフィング940g/m<sup>2</sup>以上

栈木 断面21mm×35mmの木材又はこれと同等以上の強度を有する栈木

屋根葺材料

材 料 名	規 格		厚さ(mm以上)
塩化ビニル樹脂金属積層板	不燃(屋根用)第1051号	JIS K 6744	0.4
亜鉛めつき鋼板		JIS G 3302	0.4
着色亜鉛めつき鋼板	不燃第1041号	JIS G 3312	0.4
伸銅品	不燃第1121号	JIS H 3100	0.4
ステンレス鋼板		JIS G 4304	0.4
塗装ステンレス鋼板	不燃第1006号	JIS G 4304	0.4
制振ステンレス鋼板	不燃第1026号	JIS G 3320	0.52
チタン展伸材	不燃第1019号	JIS H 4600	0.4
無機質断熱材貼り金属板	不燃第1131号		0.4
制振鋼板	不燃第1025号		0.56
カラーアルミ	不燃第1141号	JIS H 4001	0.5

繊維強化セメント板	不燃第1001号	JIS A 5423	3.0
化粧石綿スレート	不燃第1002号		3.0
化粧石綿セメント板	不燃(個)第1003号等	JIS A 5423	4.5
厚形スレート		JIS A 5402	11.0
粘土がわら		JIS A 5208	12.0
不燃シングル			4.0

屋根葺材料の重量(3.3m<sup>2</sup>当たり) 厚形スレート 150kg以下

粘土がわら 150kg以下

## 2) 副構成材料

たる木取付金具 L - 75 × 75 × 6 mm

たる木取付ボルト M - 12以上

くぎ N32以上(JIS A 5508)

タッピンねじ 5 × 60mm以上(JIS B 1115)

T型ジョイナー T - 30 × 12 × 0.3mm以上

## 5. 標準仕様(施工仕様)

### 1) 工場加工

高圧木毛セメント板(20~30mm)にロックウール吸音板(9mm)を接着剤にて貼り合わせる。

### 2) 現場施工

#### 下地

(イ) たる木取付金物(L - 75 × 75 × 6mm)を、たる木間隔が910mm以下になる様に電気溶接で取り付ける。

(ロ) たる木(□ - 100 × 50 × 20 × 2.3mm)をたる木取付ボルト(M - 12mm)を用い、たる木取付金物に取り付ける。

#### 野地板の取り付け

(イ) ロックウール吸音板裏張り高圧木毛セメント板(40mm)を所定の位置に合わせる。

(ロ) 縦方向の目地にはT型ジョイナーを使用し、横方向の目地は突付とする。

(ハ) タッピンねじ(5 × 60mm)にて端部から100mm以内の内側を、300mm以内の間隔でたる木に留め付ける。

#### 屋根葺

(イ) アスファルトルーフィング(940g/m<sup>2</sup>)を重ね代100mm以上取つて敷込む。

(ロ) 桧木(21 × 35mm)をくぎ(N32)にて固定する。

(ハ) 屋根葺は金属板、石綿スレート、瓦、不燃シングル等の不燃材料とする。

## 6. 留意事項

1) 製品の運搬に際しては、破損、水漏れ等ないように十分注意すること。

2) 衝撃を与えないよう取り扱うこと。

## 7. 付帯条件 な し